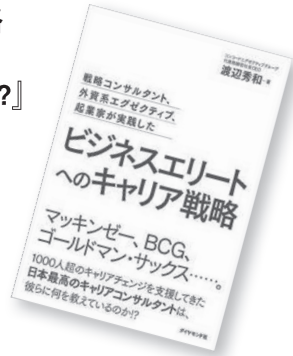
『ビジネスエリートへのキャリア戦略
～日本最高のキャリアコンサルタントは、彼らに何を教えているのか!?』



著者：渡辺 秀和
出版：ダイアモンド社
発行：2014 年 9 月 12 日

キャリア教育に重点を置く必要がある。

現在の教育課程の中では、検定試験の取得目標や日々の勉強の成果を図る定期考査で良い成績を上げることを目的として行われている。では、それらの行動は何のためにやるのか？明確な答えを持って日々勉学に励んでいる生徒たちは少ないように思う。高等学校や大学卒業後の仕事内容やキャリアアップするなど、どのような人生にしたいかを、明確にする必要があるのではないだろうか。

「良い成績をとる」や「難関資格の合格」は、単にステップアップにすぎない。明確にしなければならないのは、自らの人生において何を職業とし、どのようなキャリアを積んでステップアップしていくかである。

この本では、転職をベースとしたキャリアアップの方法や、最終的に何をめざすかによってどのようなキャリアを踏むべきかが、明確に示されている。ただ単に努力をするより、明確な目標や目的を基に努力していくほうが、時間を有効にかつ効率的に使用できるはずである。

だからこそ、早い段階からのキャリア教育が必要であり、どのような職業や職種があるのか、いつまでにどんな自分でありたいのか？どんなスキルや経験をしていたいのか？そして、その経験や時間をかけて取得するスキルが必要なものであるのかを、明確にする必要があることが示されている。その気づきが早ければ早いほど良い。どんなキャリアを積んでどんな人生を歩むか、もう一度考え直したくなる一冊である。

それに、時代のながれとともに変化する人材市場。私たち教員は、生徒たちの力を活かすことができる場所へ進路を決めなければならない。間違った選択をさせないためにも、人材市場とキャリアについてしっかり把握し、生徒ともにキャリアについて考え、道を切り開く手助けをする必要がある。その一つの手段としてこの本がある。

第１章 「人生を飛躍させるキャリアを設計する」
第２章 「まずは人材市場の実態を知る」
第３章 「あなたの『常識』は」間違っているかもしれない
第４章 「ビジネスエリートたちはすでに実践している」
第５章 「劇的に人生を変えるマジックがある」
第６章 「戦略的なキャリア設計法をマスターする」

以　上

起業教育研究会　企画委員
大阪市立ビジネスフロンティア高等学校 教諭　大中 真太郎